

## 県認証農産物（米・野菜）の消費者購買行動

農業・園芸総合研究所

### 1 取り上げた理由

認証農産物（米・野菜）に対する仙台市在住者の購買行動が明らかになったので普及情報とする。

### 2 普及情報

- 1) 認証農産物の購入経験者は、米が約20%、野菜が約15%である。
- 2) 認証農産物は、消費者の健康志向や「県内産、生産者のわかる農産物が欲しい」という期待に応えるものであることが伺える。
- 3) 価格については多くの人々が、減農薬・減化学肥料栽培は慣行栽培の1割高まで、無農薬・無化学肥料栽培は2割高までなら購入してもよいと考えている。特別栽培農産物を継続的に購入している人は購入していない人に比べやや高い価格でも購入する考えを持っている傾向がある。
- 4) 今後継続購入するためには、価格と販売先を条件にあげる人が多く、生産、流通コストの低減や、米や野菜の主要な購入先である「スーパー」で扱うようにするなど販路拡大が必要である。
- 5) 農家が消費者に直接届けることには80%以上が肯定的であり、有効な販売方法であると考えられる。

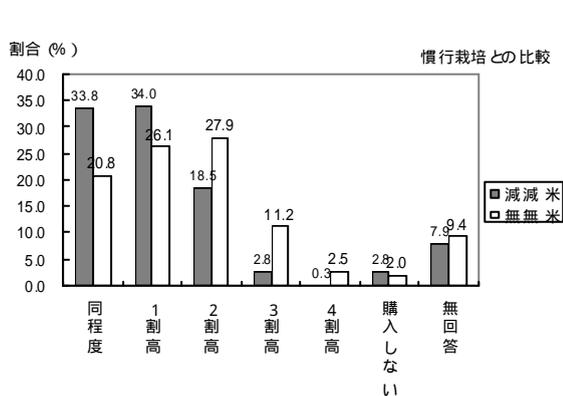


図1 認証農産物(米)をいくらなら購入してもよいか

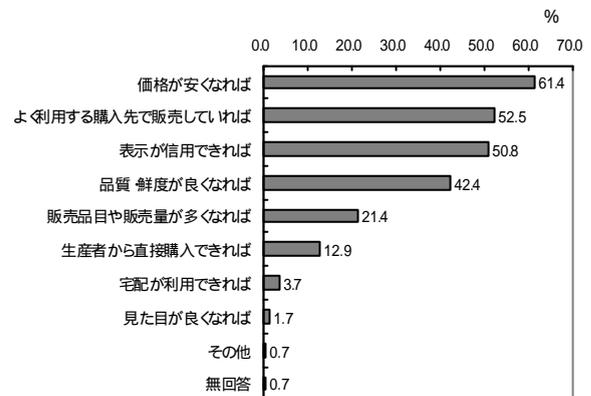


図2 購入の条件 複数回答

### 3 利活用の留意点

- 1) 回答者は50歳代以上が多い。
- 2) 生産者等が認証農産物を生産・販売する際の参考となる。

（問い合わせ先：農業・園芸総合研究所 情報経営部 電話022-383-8119）

#### 4 背景となった主要な試験研究

##### 1) 研究課題名及び研究期間

みやぎの環境にやさしい農産物栽培技術体系の確立 - 水稲編 - 平成11～14年度

##### 2) 参考データ

a 調査名 環境にやさしい農産物(米・野菜)に関する意識調査

b 調査実施概要

- ・ 調査対象：仙台市在住者2000名 電話帳より無作為二段階抽出
- ・ 調査方法：郵送アンケート(消費者向けの認証制度パンフレット同封)
- ・ 調査時期：平成14年7月

c 回答者の概要

- ・ 有効回答数：394名(21.3%)
- ・ 性別：男性170名 女性221名 無回答3名
- ・ 年齢：20代3名 30代28名 40代63名 50代124名 60歳以上173名 無回答3名

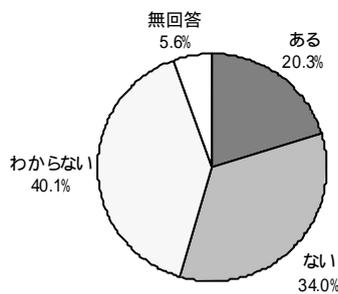


図3 認証農産物(米)の購入経験

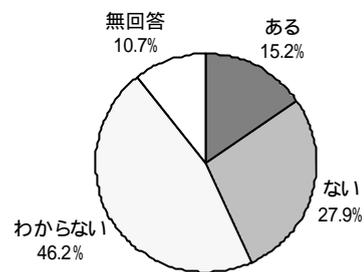


図4 認証農産物(野菜)の購入経験

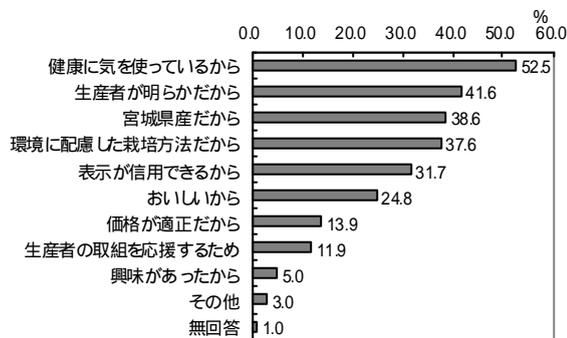


図5 認証農産物の購入理由 (複数回答)

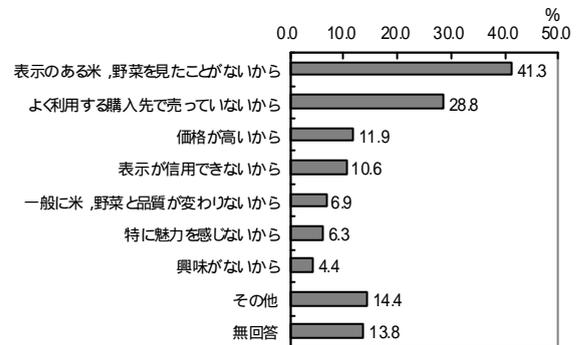


図6 認証農産物を購入しない理由 (複数回答)

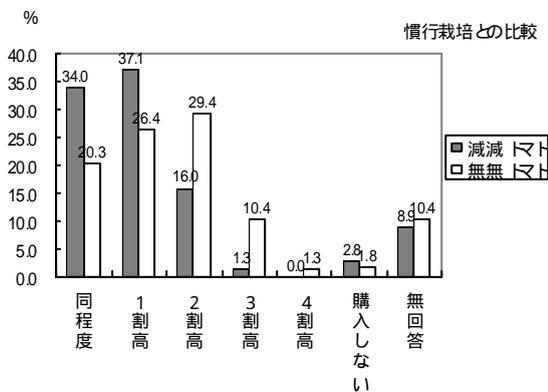


図7 認証農産物(トマト)をいくらなら購入してもよいか

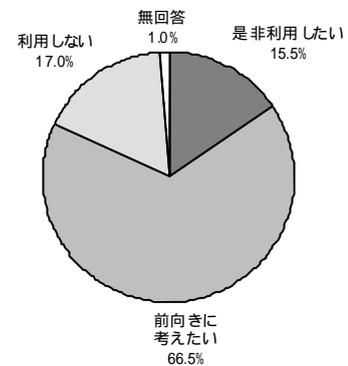


図8 農家が認証農産物を直接届けてくれるとしたら

##### 3) 発表論文等

なし